

京都総評

京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第 225 号

発行所
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラボール京都5階
京都地方労働組合総評議会（京都総評）
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター
電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

11月23日 (金・祝) 第7回団結交流まつり 10:30 六孫王神社
11月28日 (水) 消費税・社会保障宣伝 18:00 四条烏丸
11月29日 (木) 安倍改憲許さんデー宣伝 12:30 四条大宮
12月12日 (水) 消費税・社会保障宣伝 18:00 四条烏丸
12月15日 (土) 青年部クリスマスパーティー 19:30 アークホテル

主な日程

秋季年末闘争勝利へ

要求かかげ、粘り強く

11月は、公務員賃金確定闘争、年末一時金闘争など、秋季年末闘争のヤマ場です。11月8日に「秋季年末闘争勝利！総決起集会」を開催し、136人が参加。公務・民間力を合わせて、粘り強くたたかう決意を固めました。11月15日は、秋の府市民総行動で、京都市に対する宣伝と要請行動を行いました。



総決起集会で団結を固めよう

官民一体で、要求実現めざし、秋季年末闘争に全力を

11・8総決起集会

公務員賃金確定闘争のヤマ場、民間の年末一時金要求に対する回答指定日など、秋季年末闘争の大事な局面を迎え、ラボール京都ホールで「総決起集会」を開催しました。

市民の切実な要求かかげ、京都市に実現求めて

秋の府市民総行動

梶川議長が主催者あいさつのおと、あいさつを兼ねた情勢報告を行った岩橋祐治全労連副議長は、「9条改憲・消費税増税阻止！安倍内閣を一日も早く退陣に追い込もう」「人間らしく働くルールの確立を求め、労働組合の強化・拡大を」「8時間働けばふうつに暮らせる職場と社会を実現しよう」と訴えました。

労働組合、住民団体、医療関係者などで、2018秋の府市民総行動に取り組みました。11月15日は、京都市に対する要求行動。市役所前と烏丸御池の2カ所で早朝宣伝を行い、50人が参加。

化学一般、JMITU、京建労、府職労連、京都市職労、医労連から決意表明。京都市職労の永戸副委員長は、「誰一人、1年で終わる仕事をしていない」「誇りを持って働いてい

たら2日後に解雇を強行しました。京都市に解雇撤回などを求めて提訴し、裁判を通して会社のブラックな実態、不当労働行為性や解雇の不当性が明らか

年が終わる仕事をしているわけではない」と嘱託職員が声をあげ、主体となった運動をしていることを紹介し、嘱託職員の待遇改善への決意を宣言。

集会は官民力を合わせて奮闘する決意を固めよう場となりました。

19京都国民春闘 討論集会

日時 12月8日(土)～9日(日)
会場 亀岡湯ノ花温泉 「烟河(けぶりかわ)」

8日の午後に、中村和雄弁護士の講演があります。



介護現場の実態をつきつける

害対策、公契約条例や中小企業振興策、介護・福祉などの労働者の処遇改善施策、子どもの医療費無料化の実施などの重点項目を中心に要請しました。特に介護労働者の処遇改善で、京都市は「労働者処遇の改善は介護保険でされるべきもの、国に要望している」との回答に終始し、参加者から「介護施設の人手不足は深刻。職員が足りなく、入所者に朝食を食べさせるのに、朝4時から起きて食べさせている」などのリアルな実態をつきつけ、「なに、引き続き運動を強めるぜ京都市独自の施策ができ

ないのか」「このままでは介護分野の崩壊につながる」「追及しなさい」「京都市を住民のいのちと暮らしを守る姿勢をしっかりと見せよ」と立ちまわらうため

勝利和解勝ち取る

KSAINターナショナル・吉村組合員の不当解雇撤回闘争

KSAINターナショナル吉村組合員の不当解雇撤回闘争は9月18日、京都地方裁判所において「解雇撤回・解決金支払い」などの内容で勝利和解しました。

を発症。さらに無期限休業や退職勧奨を行なうなど追い打ちをかけられ、薬にもする思いで駆け込んだ法アラスの無料法律相談で塩見弁護士に出逢い、労働組合に加入して交渉するように勧められ、京都労働相談センターを介してJMITUに

加入してたたかいが始まりまし。組合は、退職勧奨やパワハラを改善させるべく、仲間の切実な要求を取り上げて団

JMITU 京滋地本



勝利を報告する吉村さん

体交渉を行い、京都府労働委員会なども活用したたたかいをすすめましたが、会社は、府労委からあつせん申請の通知が届いた日に吉村さんと呼び出し、「自主退職するか解雇か」を迫り、拒否し

たら2日後に解雇を強行しました。京都市に解雇撤回などを求めて提訴し、裁判を通して会社のブラックな実態、不当労働行為性や解雇の不当性が明らか

11・14 国会議員要請行動
夜勤改善 大幅増員 社会保障改悪阻止

自治労連・全大教・医労連の3単産による国会議員要請行動が行われました。京都から初めて参加した仲間の感想を紹介します。

「国会議員に実態を伝える取り組みの大きさを感心しました。『現場で働いている人たちは、患者さんのために良い医療をしよう』と奮闘している」と話す、どの方も領いて聞いてくれ、誰にでも共感を得られる事であると感じました」(民医労・立花さん)

「最後までこちらの話に耳を傾けて下さる方もいれば、対応が機械的でちゃんと話を聞いてくれているの(第一日赤羽組・井上さん)

TUBUYAKI

賞中「うち」の主人は、家事も育児もよく手伝ってくれて、本当に助かってるんですよ」(街頭インタビュー)

「に答える女性、「はあ、なに言ったほんのん、このひと。自分この家事と、自分この子どもやる？」「手伝わって」おかしくない？」「(妻)、「そっ、そやな」(夫)、「ええなあ男わ。ちょっと家事とか育児したら」「子煩悩」とか「イクメン」とか言ってもらえて」「(妻)、「そういつたら嫁さんが子育てがんばっても」「子煩悩」とか言われへん」「(夫)、「当たり前やん！女は、家事も育児もして当たり前！ちょっとでもサボったら「ダメ嫁」とか言われるわね！」(妻)、「……………」(夫)、「あんた！K太(長男)が足から血、出してるで！」バンドエイド貼ったって！」(妻)、「バンドエイドはどこに？」(夫)、「その棚の4段目の右側に救急箱あるやろ」(妻)、「……………」(夫)「この会話はフィクションであり、決してうちの夫婦の会話ではありません(汗)。11月22日「いい夫婦の日」に寄せて。(AF)

生かそう

憲法

守ろう 9条

72年前に日本国憲法が公布された11月3日、円山音楽堂で開かれた「11・3憲法集会in京都」には2200人が参加。パレードで「安倍9条改憲NO」「9条を守ろう」とアピール。

翌4日には、京丹後で「いらんちゃFEST A」が7000人の参加で行われ、「米軍基地はいらない」と訴えました。改憲発議を許さず、憲法を守り、生かす社会をめざして、運動を広げることが大事です。

改憲発議させない！ 憲法を守りいかそう

11・3憲法集会in京都

11月3日、「生かそう憲法 参加しました。法を守る9条 11・3憲法 記念講演で広渡清吾さん 法集会in京都」が円山音楽堂（東京大学名誉教授・市民堂で開かれ、2200人が、連合呼びかけ人）は、安倍改憲について、「自衛隊を憲法に書くという」とは、一行政機関である自衛隊を、国会、内閣、裁判所という三権と同列に置くことになり、特別扱いすること」と指摘し、「安倍政治は日本の発展の障害になっていく」「安倍政治反対、憲法を守るたたいは、日本の未来をつくる上で絶対必要な課題」「来年の参議院選挙



各地域の取り組みをアピール

で、市民と野党の共闘で立憲野党の姿を国民に示すことが重要」と強調しました。

安倍9条改憲NO！全国市民アクション・京都が、3000万署名の京都の集計が36万筆に達したことを報告し、目標の60万筆めざして、取り組みを広げようとして、取り組みを広げようとして訴えました。また、各地域から、取り組みをさらに広げる工夫と決意をアピールしました。

集会後、連休でにぎわう繁華街をパレードし、「改憲発議を止めよう」「憲法9条を守ろう」と市民にア

ピールしました。改憲発議を断念させ、安倍政治を終わらせるために、3000万全国統一署名の目標達成をめざし、職場・地域で取り組みをいっそう大きく広げていくことが重要です。

米軍基地いらん 平和な丹後を子どもたちに

いらんちゃFESTA2018

米軍レジャー基地撤去を求める「米軍基地いらんちゃFESTA」が11月4日、京丹後市で行われ、700人が参加しました。米軍基地建設を憂う宇川有志の会の永井事務局長が、基地の敷地の掘削工

事問題、停波拒否によるトクターヘリの運航遅れの問題、米軍の交通事故問題などを報告し、「日米地位協定の米軍特権のもとで、京丹後がアメリカの隷属化の最前線にある。米軍基地はいらない、私たちは黙らな



川口真由美さんのライブで盛りあがる

米軍基地いらん、とアピール



い」と訴えました。集会後、会場周辺をデモ行進し、「危険な米軍基地はいらない」「住民の安全・安心を守る」「平和な丹後子どもたちに残そう」とアピールしました。

辺野古新基地建設を強行しようする安倍政権ですが、先日の沖縄県知事選

りました。労働者の暮らしを守り、共同をこころる1年に

労働者の暮らしを守り、共同をこころる1年に

さて亀岡地労協は、過日の第63回定期大会で福嶋新議長のもと、各単組から積み上げた組織強化3か年計画の作成や、亀岡地域ユニオンの設立を目指すことを決定し、新体制も発足しました。来年は、1月・市議会議員選挙、4月・府会議員選挙、7月・参議院選挙、11月・市長選挙と選挙イヤーになります。国政課題とともに、亀岡スタジアム中止、中学校給食実現など、市民要求は山積しています。労働者の暮らしを守ることも、市民と共同した取り組みを重視する1年に

14年目の9号線 「憲法アピール行動」

元気 いっぱい!

亀岡地労協



手を振ってドライバーにアピール

と、「頑張りや」の声、窓から手を振り返す、クラクションを鳴らすなど、多くの応援があり、1時間の行動でしたが、とても元気になりました。亀岡で14年間続く、「憲法9条守ろう亀岡の会」の伝統行事「憲法アピール行動」。今年は9号線9カ所の交差点で1000人の参加で行われました。九条の会は、個人会員の集まりですが、亀岡地労協は、アピール行動の趣旨に賛同し

市民の皆さんと共同して取り組みに参加しています。11月5日、職場に行くこと、「土曜日、国道で宣伝したね」のうれしい反応もあ

走り、「事故原因は車両本体に欠陥があり、リコール隠しがある」とわかった。巨大企業の壁が大

わたしのオス本 『空飛ぶタイヤ』

京都総評 女性部事務局長 森 智重美

大きく立ち上がるが、赤松はホープ自動車に証拠の部品返却を求めるなど、果敢にいどみ続けた。ホープ自動車社員の内部告発により、ようやく警察は捜査に踏み出した。こうして、赤松の会社は容疑が晴れ、社員や家族は救われたのであった。本当のところである。

書名・空飛ぶタイヤ
出版社・講談社文庫
著者・池井戸 潤
定価・上下とも690円＋税

「年金下げるな」「消費税上げるな」 怒りの年金一揆

年金者組合京都府本部

怒りの年金一揆に209人集う
「年金上げる」「消費税10%やめろ」「安心して暮らせる社会保障の実現を」と、怒りの年金一揆が10月31日、ラポール京都で開催され、209人が参加しました。集会後には、「一揆」「安倍やめろ」などのムシロ旗を立て、四条大宮までパレードしました。



怒り込めてパレード

安倍内閣は、「生涯現役社会を前提に2年かけて、医療・年金など、社会保障全般にわたる改革を進める」と国会で宣言、70歳定年制、70歳年金支給の選択制、年金課税の見直し、医療費の負担増などを検討しています。消費税10%、若い世代の年金水準引き上げと支給年齢引き上げ、現在支給されている世代には課税強化を図る、こんな「改革」は許せません。四条大宮までのパレードは怒りをこめたものになりました。

川総評議長が、「人生100年